ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-001	Absorption	細見 篤史	種々外用剤の経皮吸収性評価における3次元培養ヒト皮膚モデルの有用性
P-002		根来 亮介	薬物の腸管吸収・代謝モデルへの応用を目指した気液界面培養Caco-2細胞の機能評価
P-003		Ilona Wehl	薬物動態研究のためのin vitroプラットフォームとしての気液界面培養ヒト腸管オルガノイド由来単層膜の構築と特性評価
P-004		曽野 貴子	標的タンパク質分解誘導剤（TPDs）の評価に適したCaco-2細胞を用いた膜透過性試験系の構築
P-005		上原 駿	薬物動態評価におけるセルカルチャーインサートのポア密度の影響　～ヒトiPS細胞由来腸管オルガノイド単層膜での検討～
P-006		岸本 久直	新規Fluorinert FC-40-液体界面（FLI）細胞培養法を用いた粘液–腸管細胞膜モデルの開発
P-007	Others	乾 達也	ALI培養条件の最適化によるヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の機能向上
P-008	Absorption	秋山 紗椰	薬物吸収評価のための消化管溶出性評価(その８)：ペプチド製剤の経口投与戦略
P-009		淺井 勇人	薬物吸収評価のための経皮吸収評価（その９）：ナノ粒子製剤の経皮吸収モジュールの開発
P-010		辰巳 直之	ヒト経口バイオアベイラビリティ予測におけるコモンマーモセットの評価
P-011		安藤 由貴	抗体医薬品皮下投与製剤の市販品情報調査：投与デバイス追加時の繋ぎ試験と投与条件（投与部位・投与液量・投与箇所数）がヒト吸収性に及ぼす影響
P-012		山川 奈緒美	IL-23受容体阻害経口ペプチド イコトロキンラの非臨床薬物動態評価
P-013		林 芙優	マウスにおいてサケ白子由来オリゴDNAの一部はジヌクレオチドとして消化管吸収される
P-014		大薮 由依	OD錠の食後水なし条件下における吸収の遅延した血中濃度推移のin vitro胃排出挙動に基づく予測

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-015	Absorption	唐 衡敏	P-glycoproteinを介した吸収非線形性の動物種差：市販基質薬6種を用いた評価
P-016		友永 祐子	量子ドットイメージングによる薬物の大腸吸収を制限する生理学的因子の解明
P-017		山本 陽菜	膜透過性および膜透過機構に基づく浸透圧依存的薬物-飲食物間相互作用の予測
P-018	Regulation	首藤 征剛	ABCC2遺伝子イントロン上のグアニン四重鎖構造はMRP2の発現を減少させ、肝がん細胞のシスプラチン感受性を増強する
P-019		佐久間 勉	マウスCYP3A41, 3A44の性依存発現の調節
P-020	AI/Bioinformatics/Omics	Lianjin Cai	Predicting Human Pharmacokinetics with AI and Machine Learning through Emerging Strategies in Drug Discovery
P-021		鈴岡 拓也	生体内での薬物動態と整合する機械学習による薬物動態パラメータ予測
P-022		今奥 麻実子	AIベースの代謝物予測を活用したPROTAC医薬品の代謝物同定、薬物動態および組織内分布解析
P-023		永江 翼	補助アッセイデータを活用した機械学習によるヒトPXR誘導活性予測 ― OpenADMET PXR Challenge 4位入賞報告
P-024		谷畑 颯香	化学構造を用いたヒトクリアランス予測におけるサルデータ必要性の判別
P-025	Bioimaging/Bioanalysis	鈴木 英子	バイオ医薬品の組織中局所濃度測定のチャレンジ－リガンド結合法とQuanticell®イメージングを組み合わせた表皮中濃度測定
P-026		小林 竜太	キットを用いた簡便な試料前処理とLC-MS/MSによるヌシネルセンの高効率定量法
P-027		鈴木 悦子	マイクロスケールクロマトグラフィを用いた高速/高感度での血漿中GLP-1受容体作動薬の定量分析
P-028		河合 夏苗	生体試料中で不安定な核酸アナログの活性本体であるトリリン酸体の分析法開発

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-029	Bioimaging/Bioanalysis	菅 翔吾	マウス脳における投与薬物の脳内分布解析フローの構築
P-030		押方 基二	組織内バイオマーカーイメージングのための、新規光切断型質量タグ抗体を用いたDESI MSIによるターゲットおよび非ターゲットワークフローの評価
P-031		飯田 晴生	Aminopeptidase A-Fc融合組換えタンパク質のマウス体内動態と胎児移行性の評価：異なる測定手法を用いた解析
P-032	New Modalities	原谷 健太	抗CD40抗体併用による抗薬物抗体産生の抑制を介したカニクイザルにおける抗体医薬品の薬物動態評価法の改善
P-033		菊池 高弘	新規核酸標識法 (FT-labeling) を用いたラットにおける既承認薬Volanesorsenの薬物動態評価
P-034		吉田 明香	抗体及びFc融合タンパク質のヒト体内動態予測に向けた非特異的細胞取り込み評価
P-035		佐野 典康	標的タンパク質分解薬（TPD）の薬物動態評価：経口曝露に対する投与媒体の影響とE3リガーゼ依存的脳移行性
P-036		佐藤 寛之	新規iPS細胞由来脳毛細血管内皮細胞モデルを用いた抗体透過性および輸送機構の解析
P-037		安東 友繁	環状イオンモビリティー質量分析計を用いたペプチド異性体分析の検討
P-038		申 偉琳	ヒト化肝臓キメラマウスのみを用いた Beyond Rule-of-5 標的タンパク質分解誘導薬のヒト薬物動態予測
P-039		橋本 彩伽	脳微小血管内皮細胞および髄膜細胞における環状ジヌクレオチドのファーマコダイナミクス
P-040		平賀 亜美	腹膜播種モデルにおけるがん関連骨髄系細胞のFcγ受容体発現が抗CTLA-4抗体結合に及ぼす影響
P-041	Drug-Drug Interactions	加藤 基浩	ミダゾラム相互作用試験に基づく小腸CYP3A4代謝阻害の特徴解析とMSPKモデルの予測精度評価
P-042		松本 有毅	本邦で承認された新有効成分における有機カチオントランスポーター１阻害評価の実施状況と課題

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-043	Drug-Drug Interactions	岩切 瞭太郎	アコチアミドのin vitro CYP/UGT阻害評価及びPKモデリングに基づく臨床薬物相互作用予測
P-044		齋藤 麻美	メトホルミン関連有害事象に基づくOCT1阻害DDIリスク判定基準の検討
P-045		戴 昇余	小胞体局在性有機アニオントランスポーターOAT2はジドブジン－プロベネシド相互作用に関与する
P-046		田久保 弘章	内因性バイオマーカーを用いたCYP3A阻害および誘導を介する薬物相互作用の定量的予測
P-047		関 裕太	OAT1/3介在性DDIリスク予測における、内因性バイオマーカー：ピリドキシン酸（PDA）の非臨床動物を用いたヒトへの外挿性検証
P-048		桝渕 泰宏	フェノチアジン系抗精神病薬レボメプロマジンによるCYP2D6のmechanism-based inhibition
P-049		上原 正太郎	ヒト肝キメラマウスによるイデラリシブ－ミダゾラム薬物間相互作用の評価
P-050		岡本 心葉	ワルファリン–スルファメトキサゾール薬物相互作用の母集団PK-PDモデリング：Model-Informed Precision Dosingへの展開
P-051		本多 伴世	エファビレンツによるCYP3A4のアロステリックな活性化が引き起こすキザルチニブの代謝スイッチング
P-052	Others	Young-Won Chin	An integrated in vitro and in silico evaluation of cytochrome P450 (CYP) inhibition by mangostin-type xanthones
P-053		一水 翔太	円二色性分光法を用いたアミオダロンおよびデスエチルアミオダロンのリポタンパク質結合様式の調査
P-054	Transporters	溝井 健太	ヒト胆管細胞オルガノイドの細胞単層膜を用いた胆汁中への薬物排泄を評価するシステムの構築
P-055		伊藤 武	血液精巣関門におけるコリン輸送機構の解明
P-056		砂川 大樹	全身性Mrp4ノックアウトマウスにおける尿酸の体内分布および尿中排泄の特性解析

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-057	Transporters	余田 知優	Caco-2細胞およびC2C12細胞におけるNーラクトイルフェニルアラニンの輸送特性
P-058		矢口 優佳	クモ膜を介したラットおよびサル脳脊髄液中からのアニオン・カチオン性化合物の消失機構
P-059		手賀 悠真	血液脳関門の乳がん耐性タンパク質機能に対する膠芽腫細胞の影響解明
P-060		山口 心菜	骨格筋細胞株C2C12におけるNa+非依存性中性アミノ酸トランスポーターの制御機構の解明
P-061		高橋 亮人	Beyond-rule-of-five化合物のトランスポーター基質性評価におけるアッセイ条件の最適化
P-062		上小澤 縁	中枢移行性予測およびヒト外挿性評価に向けたin vitroサル血液脳関門キットの有用性評価
P-063		小澤 誠	様々な血液脳関門輸送特性を示す薬物の脳内移行性評価：カニクイザルを用いたマイクロダイアリシスによる検討
P-064		岡 潔志	ヒト胆管がん細胞でのNanvuranlatの細胞内滞留におけるがん型OATP1B3の関与
P-065		野口 幸希	薬物ライブラリースクリーニングを基盤としたヒト腎有機アニオントランスポーターOAT4選択的阻害剤の探索と同定
P-066		小川 凜桜	小胞体オーファントランスポーターの機能同定および輸送特性評価
P-067		國枝 美里	モノカルボン酸トランスポーター7の発現制御機構の探索
P-068		松井 優樹	食物由来抗酸化物質エルゴチオネインの骨格筋への分布特性
P-069		伊藤 慎悟	定量プロテオミクスを用いたマウス血液脳関門におけるタンパク質発現の日内変動
P-070		加藤 葵	HK-2細胞における新規有機アニオントランスポーターによるフルオレセインおよび5-カルボキシフルオレセインの輸送

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-071	Transporters	内 美月	クレアチントランスポーター欠損マウスにおけるクレアチン経口投与に伴う肝臓・腎臓プロテオーム解析
P-072		加藤 将夫	マルチキナーゼ阻害薬regorafenibの経口投与後の持続的な血中濃度推移を説明する腸管循環搭載型PBPKモデル
P-073	Others	小森 友恵	ヒト肝細胞キメラマウスを用いたヘテロ二官能性分子のヒト薬物動態予測
P-074		山之内 慶太	コレスチラミンを用いた非臨床動物における腸肝循環の非侵襲的評価
P-075		高橋 紗織	法医解剖由来の脳脊髄液および血清試料から算出した$K_{s,uu,CSF}$を用いたヒト血液脳関門透過性の解析
P-076	Drug Delivery System	桑原 綾平	階層スフェロイド型ヒト血液脳関門モデルを用いた環状ペプチド修飾抗体の脳移行特性評価
P-077		橋本 正寛	抗体修飾mRNA-LNPのプロセス開発および最適化検討
P-078		江口 創	mRNA-LNP向け新規イオン化脂質の開発
P-079		安田 匠吾	サイズおよび構造の異なる高分子化合物の腹腔内動態と腹膜播種腫瘍への移行
P-080		井口 悠真	脂質組成が異なる脂質ナノ粒子の細胞内送達特性の細胞株間比較と腹膜播種への送達性評価
P-081		近松 翔馬	Caco-2細胞における重炭酸濃度依存的なバリア機能制御メカニズムの解明
P-082		井上 大輔	脳内微小透析法を用いた脳液循環依存的な経鼻脳薬物送達効率を定量評価する薬物動態学的解析法の開発
P-083		横山 楓	単一細胞イメージングによるGalNAc標識siRNAの細胞内動態および標的遺伝子抑制の解析
P-084	Drug Metabolism Enzymes	塩田 優子	反応性代謝物の評価のためのHPLC-FLR-HRMS/MSを用いたdGSHおよびCysGlu-Dan付加体の構造解析

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-085	Drug Metabolism Enzymes	小山 怜	なぜヒトCYP4B1は不活性なのか―Ser427だけでは説明できない機能欠損―
P-086		後迫 玄城	ツパイ肝臓におけるCYP3A5タンパク量とミダゾラム 1´-水酸化酵素活性との相関
P-087		宮内 優	UGT2B7アラニン置換体および予測構造の解析に基づくUGT1A1システイン残基の機能予測
P-088		加藤 美紀	HepG2細胞でのβ-カテニンシグナル経路を介したUGT1A1の発現に関する検討
P-089		小島 綾華	ヒトCYP2C9バリアントおよびCYP2C19によるアラキドン酸からの14,15-エポキシエイコサトリエン酸生成反応の速度論的解析
P-090		佐野 大知	創薬早期におけるAO代謝リスク低減を目的とした開発候補化合物選定フローの構築
P-091		田中 広治	Metabolite profiling of ASP1570 in participants with advanced solid tumors and in vitro enzyme identification of major metabolites: insights into human metabolism of ASP1570
P-092		高橋 正人	プロポフォールエステルプロドラッグの溶解性・化学的安定性・生体内活性化に対する側鎖構造の影響
P-093		清水 万紀子	In silico二値分類を用いたフラビン含有酸素添加酵素 (FMO3) 酵素機能の予測
P-094		朝野 怜	異なる基礎培地で培養したヒトiPS細胞由来肝オルガノイドの機能特性解析
P-095	Toxicity	Elif Oz	Photoactivated Xenobiotic Stress Induced by Quaternized Silicon Phthalocyanines in Breast Cancer Models
P-096	Others	Jiraporn Kuesap	In vitro screening of medicinal plant ethanolic extracts for antimalarial activity against Plasmodium falciparum and cytotoxicity assessment
P-097	Toxicity	大津 尚子	薬物誘発性ビリルビン上昇の早期リスク評価：トランスポーター・酵素阻害研究からの示唆
P-098		植山（鳥羽） 由希子	CYP3A4/3A5欠損iPS細胞由来肝臓オルガノイドを用いたアイソフォーム依存的薬物動態評価系の構築

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-099	Toxicity	浦谷 悠生	薬剤性腸管毒性評価を目的としたヒトiPS細胞由来腸管オルガノイド及びCaco-2細胞の比較検討
P-100		橋本 芳樹	マルチドナー由来のヒト腸管オルガノイドを用いた薬物誘発性悪心・嘔吐の定量的予測基盤の構築
P-101		落合 和	ジアゼパムおよびその代謝物の母体・胎児薬物動態：妊娠マウスにおけるオキサゼパム-グルクロン酸抱合体の予期せぬ胎盤移行
P-102	Others	Srinuan Somroop	Antibacterial activity and antioxidant activity in Thai herbal extracts against Staphylococcus aureus
P-103		Nutnicha Suphakhonchuwong	Molecular Characterization of Permethrin Resistance in Head Lice among Primary School Children in Thailand
P-104	Systems Pharmacology/Pharmacometrics	藍原 大甫	細胞骨格–核内受容体軸による新たな肝脂質代謝制御:　SPRR1A は β-actin から LXRα を解離させる
P-105		小林 和弘	腫瘍内TfR1動態を組み込んだトランスレーショナルPBPKモデルに基づく二重特異性抗体KK2260の初回ヒト投与量設定
P-106		中川 桂太朗	ヒトFcRnトランスジェニックマウスを用いたADCのヒト薬物動態予測
P-107		山下 富義	事後要約量を使った高速かつ正確な母集団薬物動態共変量モデリング法の開発
P-108		摺木 志保	血小板産生機序に基づくロミプロスチムの統合PK/PDモデル：健常人および再生不良性貧血患者への適用
P-109		桝田 正敏	ナルメフェンの生理学的薬物速度論モデルを用いた肝機能障害患者における肝UGT2B7発現量の探索的解析
P-110		半田 耕一	化合物横断的なラット及びサルに基づくヒトクリアランス予測アロメトリー指数の差異に関する年齢の影響 -BMRによる考察-
P-111		土谷 聡耀	TMDD-PBPKモデルを用いた第I相試験データに基づくテルミサルタンの標的占有率における個体間変動の推定

ポスター発表プログラム

会場：F会場（1F 多目的ホール）

示説(奇数):11月17日（火） 17:30-18:30
示説（偶数）:11月18日（水） 17:00-18:00

ポスター番号	領域	発表者	演題名
P-112	Systems Pharmacology/Pharmacometrics	中山 哲	創薬初期段階における最小限の非臨床データによる抗体薬物複合体のヒト薬物動態予測：サルPKおよびin vitroデータを用いた新規スケーリング手法の提案
P-113		吉門 崇	DPP-4阻害薬リナグリプチンの複雑な標的介在性薬物動態をメカニズムに基づいたPBPKモデリングで捉える
P-114		尾崎 舞	腎バイオマーカーを用いた薬物動態モデリングによるCKD大腸癌モデルラットのFOLFOX療法関連薬物の血漿・腫瘍内曝露予測
P-115		演題取り下げ	
P-116	Pharmacogenetics/Biomarkers	菱沼 英史	日本人で同定された*DPYD*レアバリアントの構造・機能解析とDPD活性・ホモ二量体化への影響
P-117		岩本 結	KK2269による腫瘍免疫活性化を捉えるバイオマーカーとしての細胞外小胞の活用
P-118		矢島 真奈	肝がんにおけるトランスポーターおよびその関連タンパク質の包括的な発現解析
P-119		田中 由香里	マイクロウェーブ固定化及びイメージング質量分析を用いた脳内神経伝達物質の定量的空間プロファイリング法の開発
P-120		田中 庸一	PBPKを用いた*CYP2C9*遺伝子多型におけるヒト血中濃度予測の*in vitro*固有クリアランス取得法による比較
P-121	Microphysiological Systems (Organs on a Chip)	坂井 温斗	3D内皮細胞スフェロイドを用いたネットワーク形成を空間的に制御した血液脳関門モデルの開発
P-122		横井 歩希	オルガノイド・臓器チップによる炎症性腸疾患の薬剤スクリーニング系構築
P-123		松本 典子	画像解析を用いた微小血管MPSモデルの透過性評価と血管表現型解析
P-124		後 愛唯	ヒトiPS細胞由来腸管オルガノイドを用いた生理的酸素勾配下における薬物動態機能の評価
P-125		森尾 花恵	ヒト不死化血液脳関門モデルの脳指向性AAVベクター評価への応用